



# 日本心臓血管外科学会

## 学会理念

日本心臓血管外科学会は、人類愛と高い倫理性そして国際的視野を持ち、心臓血管外科領域における質の高い医療による人々の健康と福祉の増進を目指し、患者とともに歩みます。

1. 他の医療専門職との良好なチームワークの構築を基に心臓血管外科領域における質の高い医療の提供に貢献します。
2. 心臓血管外科の研究を推進し、より良い医療の実現に貢献します。
3. 心臓血管外科について人々の理解が深まるよう啓発活動を行います。
4. 優れた知識と技術ならびに卓越した指導力を兼ね備える次世代の心臓血管外科医を育成します。
5. 幅広い社会活動を通じて、世界の人々の健康に貢献します。

## 2022年度現在

会員数：4382名

現理事長：第8代 名誉会員：52  
 常務理事：1 特別会員：120  
 理事：18 国際会員：804  
 監事：5 一般会員：3406  
 評議員：221



日本心臓血管外科学会雑誌(年6回)

学会設立年 1972年

日本医学会加盟年 1983年



理事長 横山 斉



<https://plaza.umin.ac.jp/~jcsvs/>

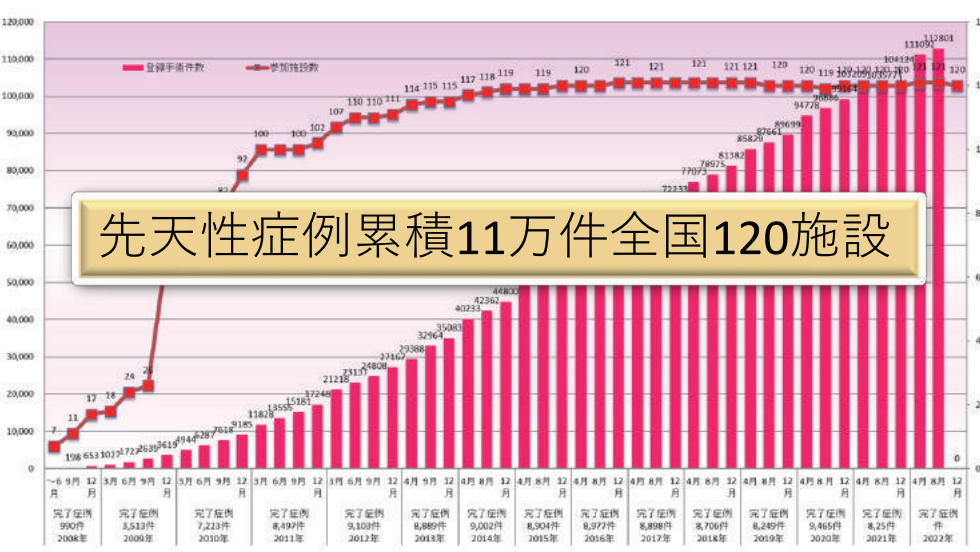
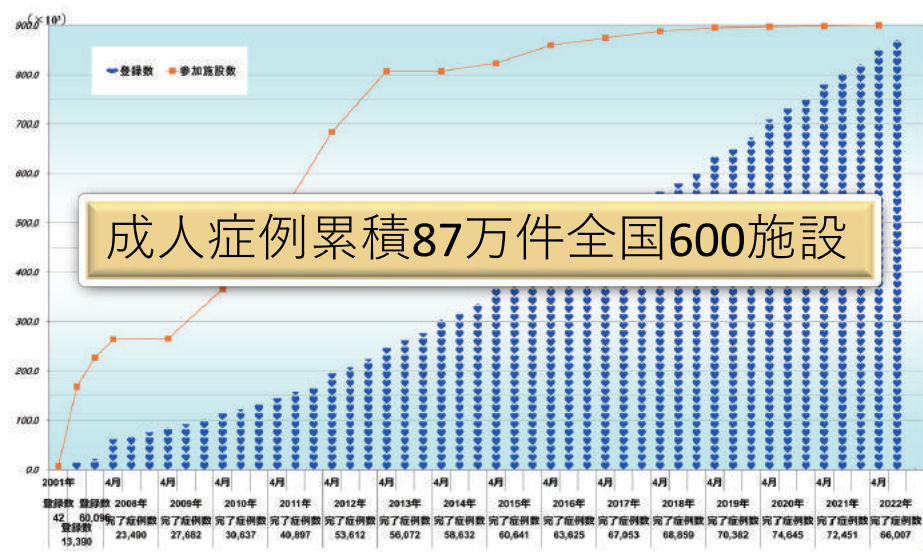


第53回学術集会：2023年3月に旭川で開催

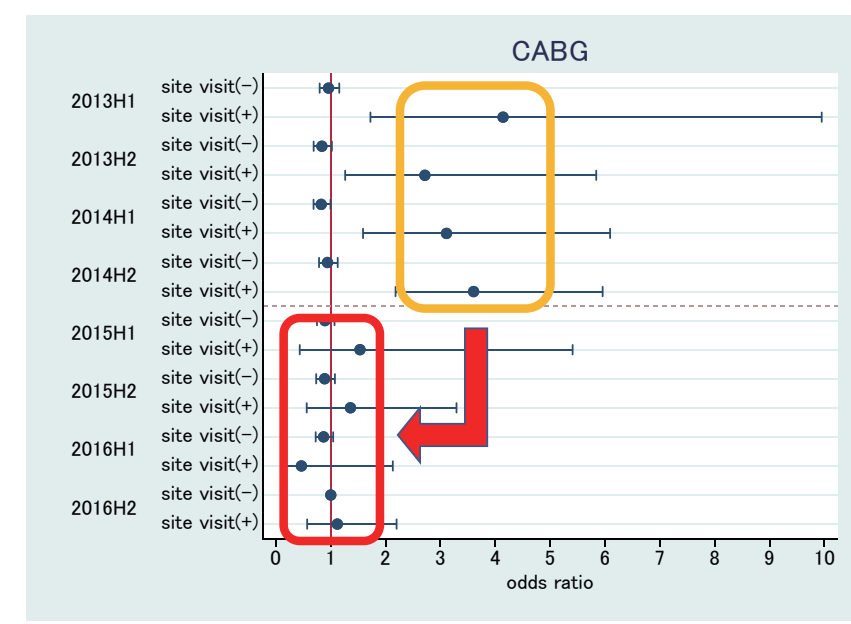
認定・専門医制度：心臓血管外科専門医制度  
年次学術集会：53回

## 【心臓血管外科手術データベース事業】

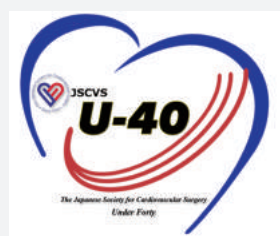
当学会は日本心臓血管外科手術データベース（JCVSD）と協力して、本邦で行われている心臓大血管手術の全症例に関して詳細な医療情報をナショナルデータベースとして収集し、科学的な分析を用いて明日の心臓血管外科に向けて医療の質向上のために貢献しています。膨大なデータを基に重症度を加味した手術死亡の予測式（JapanSCORE）を開発し、アプリによる利用を可能にしています。



本学会では、医療の質向上のための努力を最も尊いプロフェッショナル・オートノミー（職業的自立性）と認識し、具体的行動として「医療の質向上プロジェクト」を推進しています。日本心臓血管外科手術データベース機構（JCVSD）と連携し、NCD(National Clinical Database) に登録された大規模データの科学的・客観的解析を基にし、心臓血管外科施設との協働作業として取り組んでいます。学会アドバイザーが施設を訪問し施設管理者の許可のもとカルテ等を参照し、医療の質向上の具体的方策について院内合同カンファレンスを行い、施設責任者に対してカンファレンス内容をまとめた報告書を送付する特別サイトビジット（On-site Advisor Conference）とそのフィードバックを実施してきました。2013年度から開始してきたこれまでの活動成果を振り返り、2019年度には科学的視点で解析することができました。

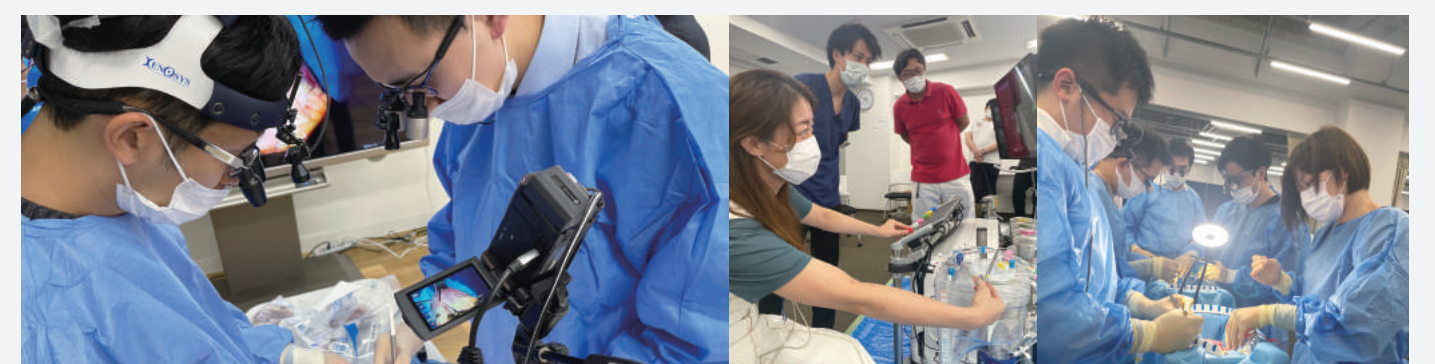


Yamamoto H, et al. BMJ Qual Saf 2019; 0: 1-9 特別サイトビジットにより参画した施設における冠動脈バイパス手術（CABG）の手術成績が経年的に改善されたことがわかりました。



## 将来の心臓血管外科を担う若手育成組織『U-40』

2014年に正式に設立された学会内若手組織。40歳以下の会員は全員U-40会員。全国8支部にまたがる約80名の幹事が活動の基盤。若手主導で知識、技術の研鑽に取り組んでおり、様々な練習器具やシミュレータを用いて練習（Off the Job Training）する機会を提供しています。



コロナウィルス蔓延後は、オンラインツールを用いたOff the Job Trainingを行いました。離れた場所にいる外科医に同一の練習環境を提供し、かつ普遍的な評価と指導を受けられるシミュレータを構築、オンラインでも技術が向上したことが明らかとなりました。海外との技術指導連携などの発展性も考えています。また多くの講義や勉強会を開催し、若手の修練について提言。専門医制度に関する意見を集約し、より良い修練環境について話し合い、チーム医療のためのリーダーシップ育成、ノンテクニカルスキルも勉強しています。これらの活動は必ず将来の心臓血管外科の技術向上、魅力アップにつながると信じています。



## 【臨床研究事業】循環器病対策推進計画

### ICTを活用した病院間連携・地域ネットワーク形成

